

【高額療養費制度の自己負担引き上げ凍結を求める声明】

日本移植者協議会は、本年夏に予定されている高額療養費制度の自己負担上限額の引き上げについて、その凍結を強く求めます。

高額療養費制度は、重篤な疾病に直面した患者が必要な医療を継続して受けられるよう支える重要なセーフティネットです。特に、移植医療を受けた患者や慢性疾患を抱える方々にとって、この制度は生命維持に不可欠な役割を果たしています。

今回の自己負担額の引き上げにより、現役世代を含む多くの患者が経済的理由で必要な治療を断念せざるを得なくなることが強く懸念されます。これにより、健康を回復し社会で活躍できる可能性のある方々が、治療を継続できずに健康状態を悪化させる事態を招く恐れがあります。

よって、私たちは以下の点を強く要望します。

1. 高額療養費制度の自己負担上限額引き上げの凍結
2. 患者団体を含む関係機関との協議の場の設置

本制度は、多くの患者の命と生活を支える重要な仕組みです。患者の声を真摯に受け止め、持続可能で誰もが適切な医療を受けられる制度の維持・改善に向けた議論を進めていただくよう、切に願います。

令和七年三月一日

特定非営利活動法人 日本移植者協議会

理事長 中井 真一